

報告第2号

平成22年度基礎学力調査の結果

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力（知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等）の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施校数	225校	225校	94校
実施児童生徒数	10,877人	11,061人	10,381人
対象教科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	5,498人	5,532人	2,835人
調査の内容	学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実施校数	77校	33校
実施教員数	1,203人	694人
調査の内容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

平成22年4月19日(月)

区 分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語(45分)	社会(40分)	社会(45分)
	2限	算数(40分)	理科(40分)	理科(45分)
	3限			英語(45分)
質問紙調査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

4 その他

○ 到達状況について

正答率の状況により、児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正答率	「到達状況」を示す記号、用語
90%を上回っている場合	◎：良好である
80%～90%の場合	○：概ね良好である
70%～80%の場合	◇：基準に到達している
60%～70%の場合	▽：十分とはいえない
60%を下回っている場合	▼：不十分である

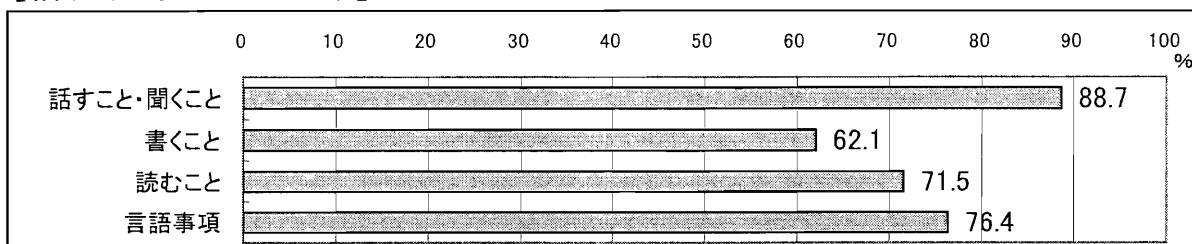
5 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

県全体の正答率	74.0%
---------	-------

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

[話すこと・聞くこと]

◎: 大事なことを落とさずに聞くこと

[書くこと]

▼: 段落の改行や句読点の正しい使い方

▼: 中心を明確にして書くこと

[読むこと]

◇: 目的に応じて、細かい点に注意しながら読むこと

▽: 段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと

▼: 目的に応じて、内容を大きくまとめること

[言語事項]

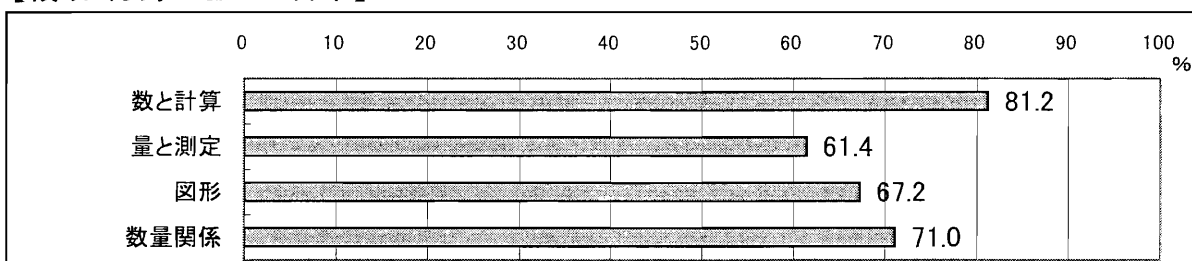
○: 毛筆・筆使いの理解

▽: 「主語」と「述語」の関係の理解, 筆順の理解

《小学校第4学年 算数》

県全体の正答率	74.9%
---------	-------

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

[数と計算]

○: 基本的な四則計算ができること

○: 数や乗法, 九九について理解すること

▼: 減法の計算の工夫を読み取り, 用いること

[量と測定]

○: 時計の時刻から一定時間前の時刻を求めること

▼: 身近なもののかさに関心を持ち, 量感を伴って理解すること

[図形]

◇: 箱の形を構成する面の位置関係について考えること

▽: 球の直径について理解すること, 円の半径を使って二等辺三角形を作図すること

[数量関係]

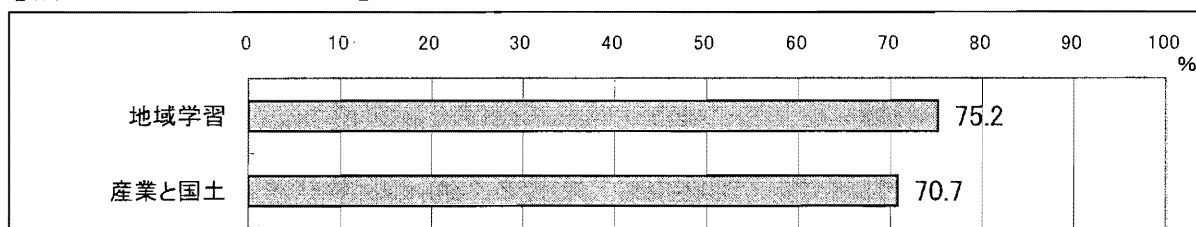
○: 二次元表から, 特定項目の人数を求めることや, 求め方を説明すること

▼: 棒グラフから項目間の関係を読み取り, 説明すること

《小学校第6学年 社会》

県全体の正答率 73.2%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

[地域学習]

- ◎: 地図の基礎的な要素である主な地図記号や八方位を理解すること
- : グラフを読み取り, 節水の工夫を考えること
- ▽: 等高線の意味を理解すること
- ▼: 地図帳を活用し, 石川県の地理的概要について理解すること

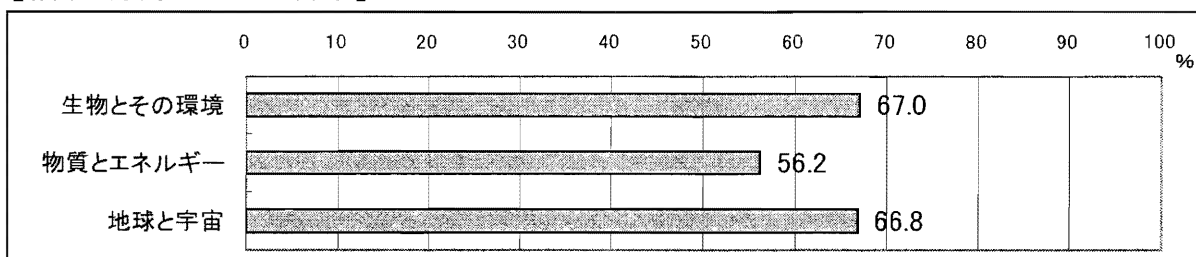
[産業と国土]

- ◎: 食の安全性について, 資料から読み取ること
- ▽: 世界の主な大陸や海洋と, 我が国の国土との位置関係を理解すること
- ▼: 資料をもとに, 日本の農業の問題について自分の考えをまとめること

《小学校第6学年 理科》

県全体の正答率 64.6%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

[生物とその環境]

- ◎: メダカの卵の変化について理解すること
- ▽: 昆虫の体のつくりについて理解すること
- ▼: モンシロチョウの卵の大きさやメダカの雌雄の違いについて理解すること

[物質とエネルギー]

- : る過に必要な器具を選択すること
- ◇: 水に物が溶けても全体の質量は変わらないことについて理解すること
- ▼: 正確なデータを得るための実験の技能を身に付けること
- ▼: 閉じ込められた空気と水の体積変化について理解すること

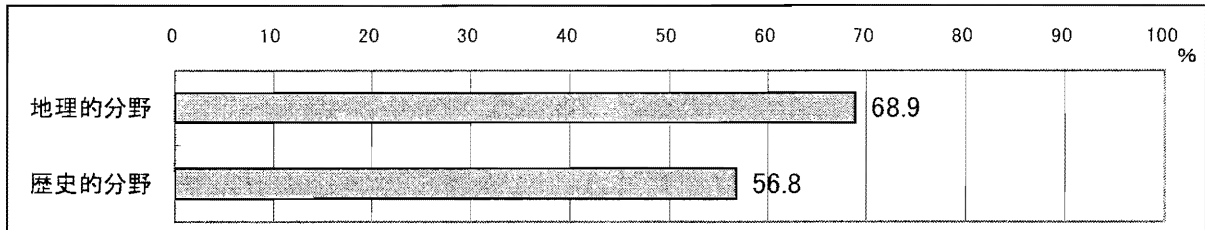
[地球と宇宙]

- ◇: 上流と下流の石の大きさや形の違いについて理解すること
- ▼: 降雨と川の増水について関係付けて考えること

《中学校第3学年 社会》

県全体の正答率 63.0%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎: 良好である ○: 概ね良好である ◇: 基準に到達している ▽: 十分とはいえない ▼: 不十分である

【地理的分野】

- : 地形図から地域の特色を読み取ること
- : 主題図を適切に読み取ること
- ▼: 複数の資料から読み取ったことを関連付けて表現すること

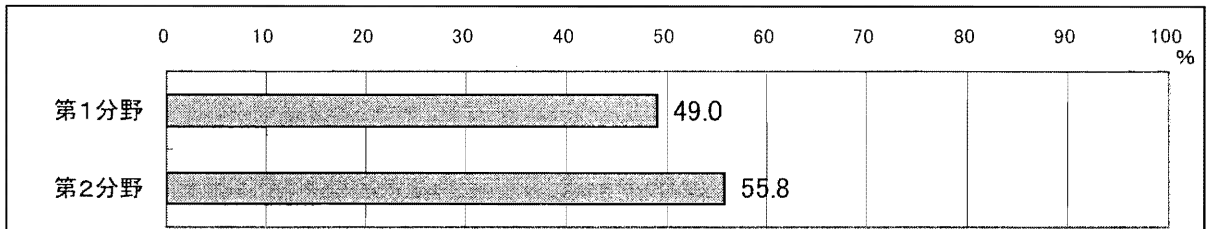
【歴史的分野】

- ◎: 資料を活用し、歴史上の人物と歴史的事象を関連付けて理解すること
- ▽: 時代区分について理解すること
- ▼: 歴史的事象の意味・意義について説明すること
- ▼: 時代の特色をとらえること

《中学校第3学年 理科》

県全体の正答率 52.3%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎: 良好である ○: 概ね良好である ◇: 基準に到達している ▽: 十分とはいえない ▼: 不十分である

【第一分野】

- : 物体の置き方が違っていても重さは変化しないことについて理解すること
- ◇: 音の高低による波形の違いについて理解すること
- ▼: 物体の質量から、面に加わる圧力の大きさを求めること
- ▼: 化学変化の実験データを処理し、考察した内容をまとめ表現すること
- ▼: 回路の抵抗、電流の大きさを求めること

【第二分野】

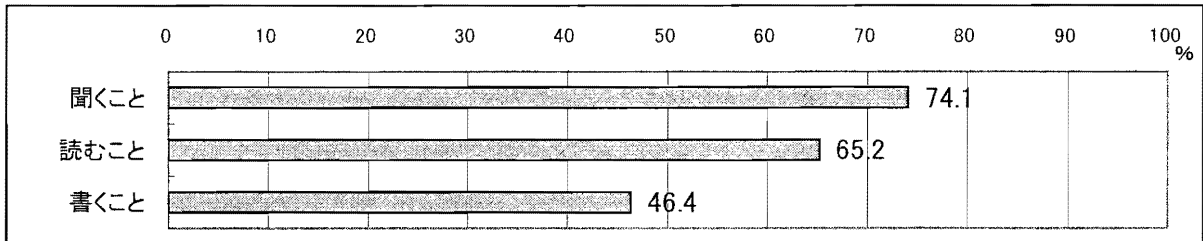
- ◇: 双子葉類の特徴を理解すること
- ▽: 等圧線から気圧を推定すること
- ▼: だ液の働きを調べる実験における対照実験の意図について理解すること
- ▼: 地層を構成する岩石について理解すること

《中学校第3学年 英語》

県全体の正答率

61.5%

【領域・分野ごとの正答率】



【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

[聞くこと]

- : ポイントとなる語を正しく聞き分けることや、質問・依頼などを聞いて適切に応じること
- ▽: まとまりのある英語を聞いて、内容を整理しながら要点を聞き取ること

[読むこと]

- ◇: まとまりのある文章を読んで、大まかな流れや単語の意味を読み取ること
- ▼: まとまりのある文章を読んで、文と文のつながりや具体的な内容を読み取ること

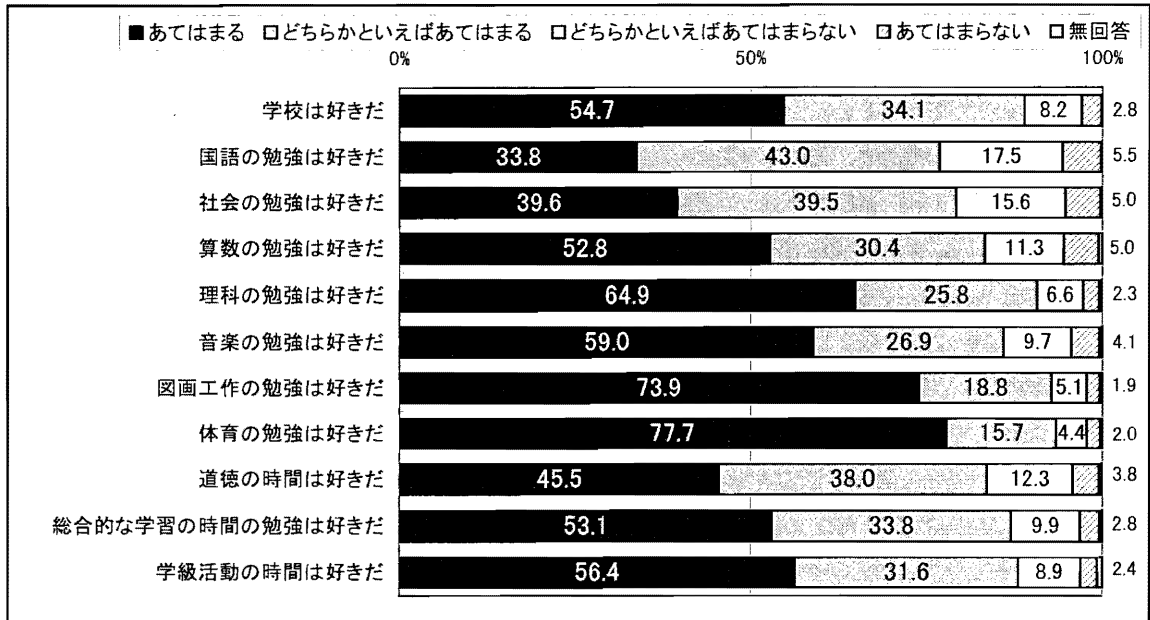
[書くこと]

- ▼: 場面にふさわしい内容や伝えたい情報を正しい語順や語法で書くこと
- ▼: 自分の考えや気持ちが伝わるように、まとまりのある文章を書くこと

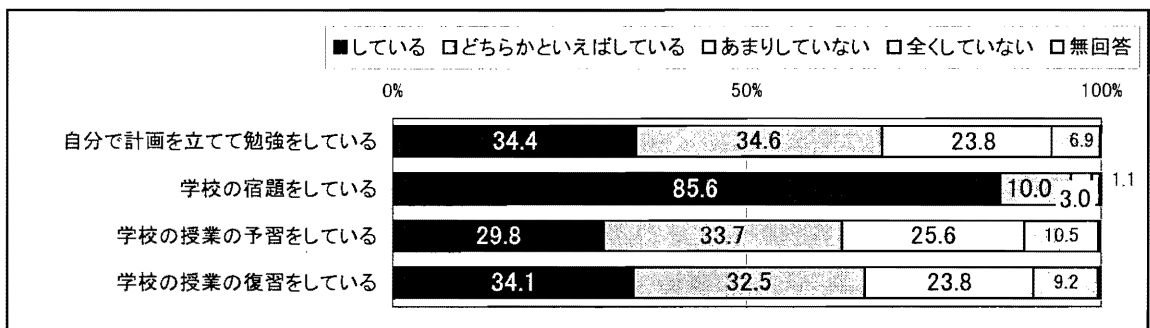
(2) 質問紙調査結果

《小学校第4学年》

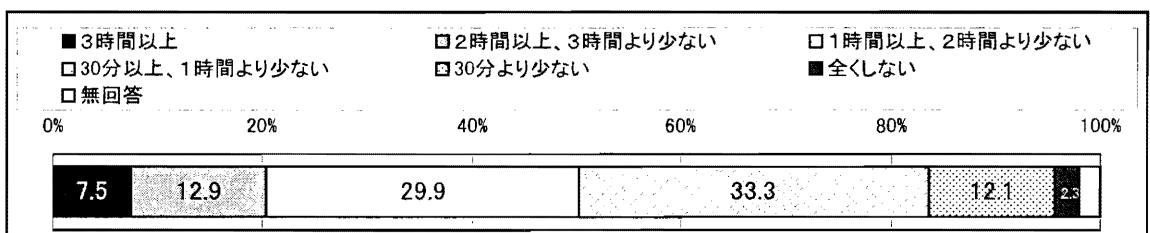
1 学校、勉強の好み



2 家庭学習

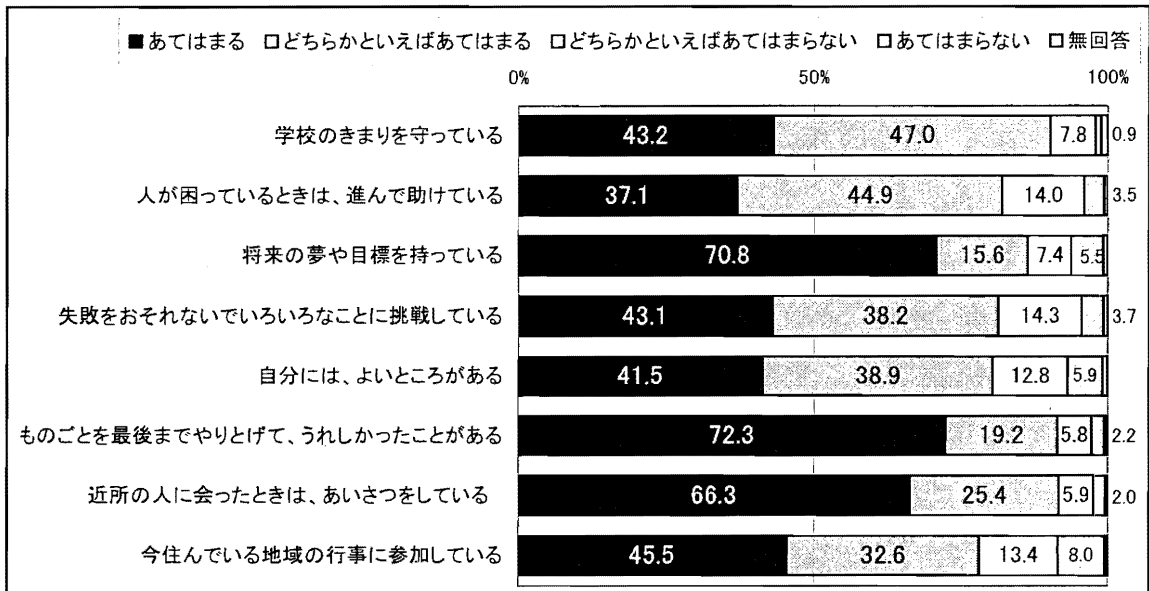


○ ふだん(月から金曜日)の家庭学習時間(学習塾や家庭教師の時間もふくむ)



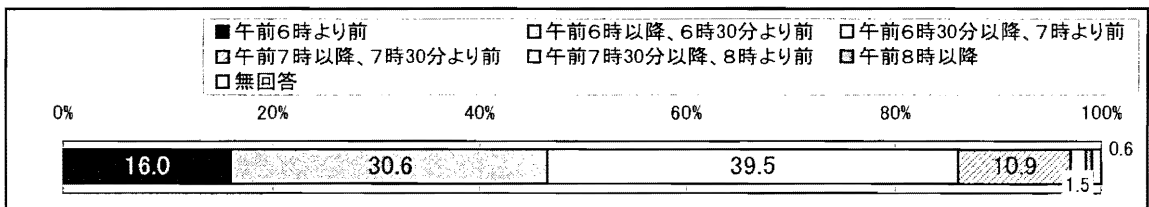
※ 質問紙調査結果については、無回答の割合(数値)は表記していない。

3 学校のきまり等

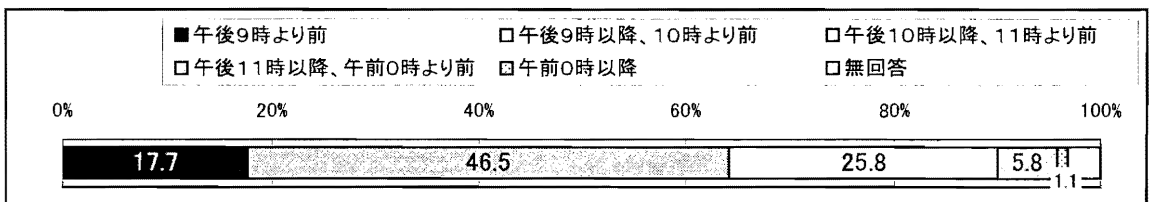


4 基本的な生活習慣

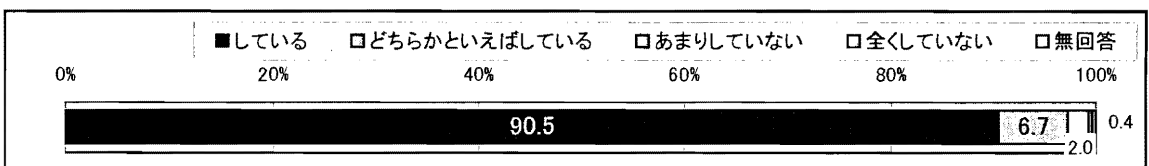
○ ふだん(月曜日から金曜日)の起床時間



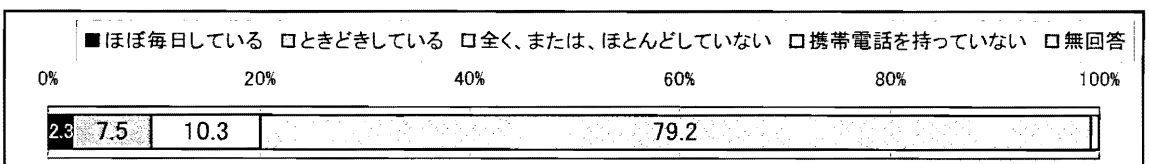
○ ふだん(月曜日から金曜日)の就寝時間



○ 朝食を毎日食べているか。



5 携帯電話で通話やメールをしているか。



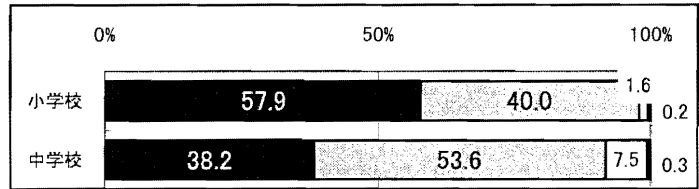
《教員》

1 次の指導を、昨年度からどの程度行っているか。

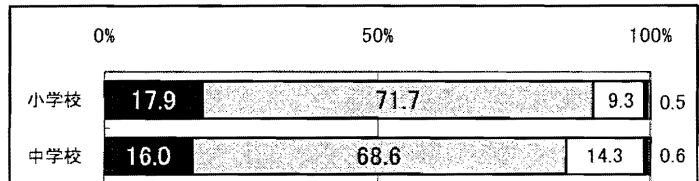
【教科等に関すること】

■よくしている □している □あまりしていない □ほとんどしていない □無回答

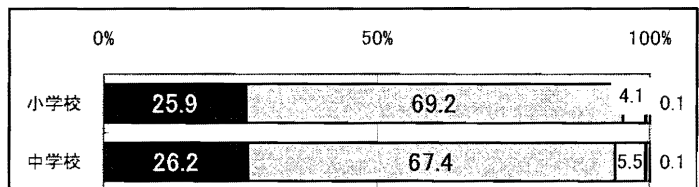
- 繰り返し学習(音読、暗記・暗唱、反復学習など)を通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っている



- 問題解決的な学習、実生活における様々な事象との関連を図った学習などを通して、活用力(思考力・判断力・表現力等)を育成する指導をしている



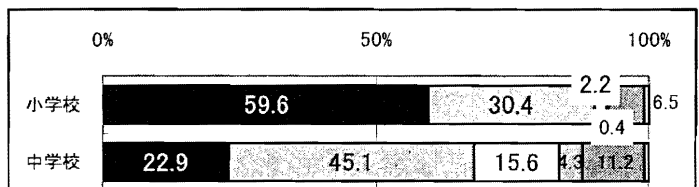
- 課題設定や授業展開、教材・教具の開発など、学習意欲の向上を図るための工夫をしている



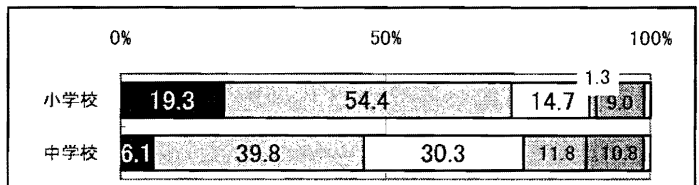
【家庭学習に関すること】

■よくしている □している □あまりしていない □ほとんどしていない □回答できない □無回答

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための宿題を出している



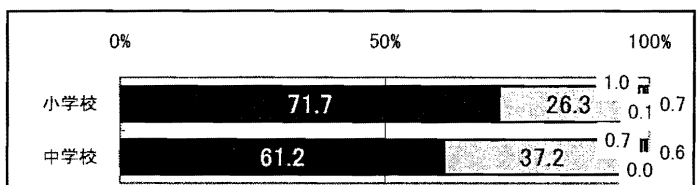
- 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしている



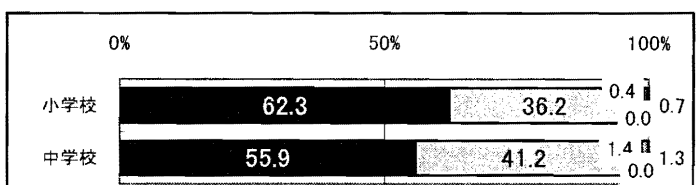
【学習規律等に関すること】

■よくしている □している □あまりしていない □ほとんどしていない □回答できない □無回答

- 私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど、学習規律の指導をしている



- 児童生徒に、校則や集団生活のルールを守るよう指導をしている



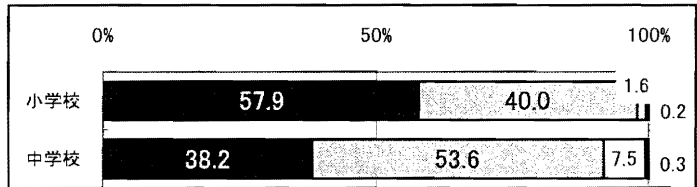
《教員》

1 次の指導を、昨年度からどの程度行っているか。

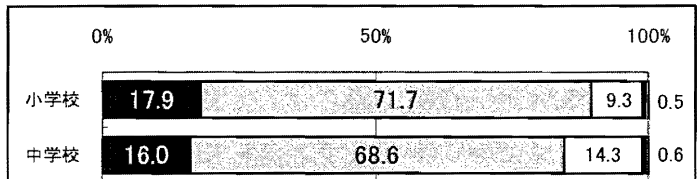
【教科等に関すること】

■よくしている □している □あまりしていない □ほとんどしていない □無回答

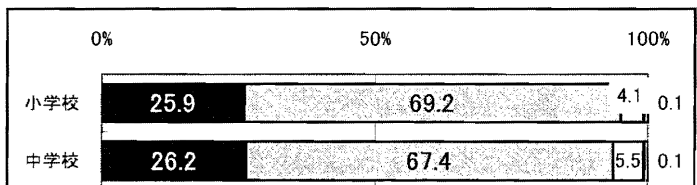
- 繰り返し学習(音読、暗記・暗唱、反復学習など)を通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図っている



- 問題解決的な学習、実生活における様々な事象との関連を図った学習などを通して、活用力(思考力・判断力・表現力等)を育成する指導をしている



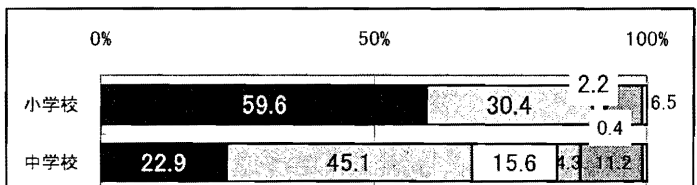
- 課題設定や授業展開、教材・教具の開発など、学習意欲の向上を図るための工夫をしている



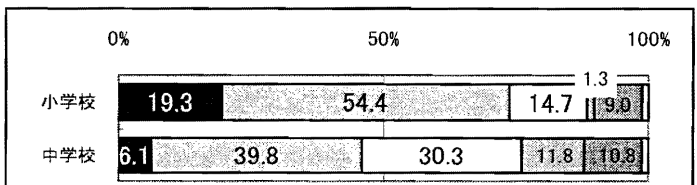
【家庭学習に関すること】

■よくしている □している □あまりしていない □ほとんどしていない □回答できない □無回答

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための宿題を出している



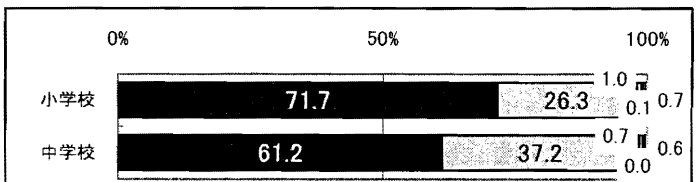
- 保護者に対して児童生徒の家庭学習を促すような働きかけをしている



【学習規律等に関すること】

■よくしている □している □あまりしていない □ほとんどしていない □回答できない □無回答

- 私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど、学習規律の指導をしている



- 児童生徒に、校則や集団生活のルールを守るよう指導をしている

